

# 平成30年度 消費生活相談の概要

## 1. 相談の状況

### ○相談総件数

1,623件（135件／月）

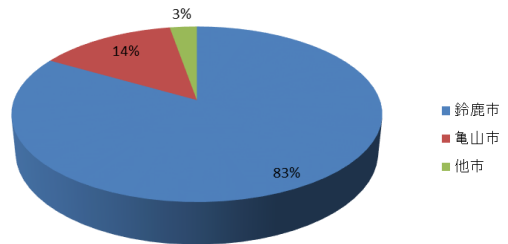
前年度比6.9%減, 120件減少

### ○相談者の住所別

鈴鹿市 1,350件

亀山市 235件

他市 38件

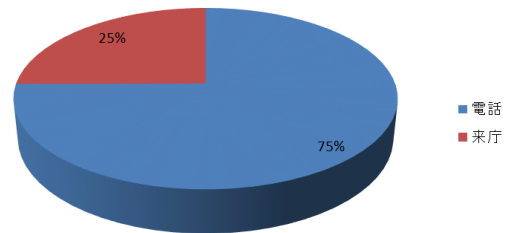


### ○相談方法別

電話による相談 1,223件

来所による相談 397件

文書等による相談 3件

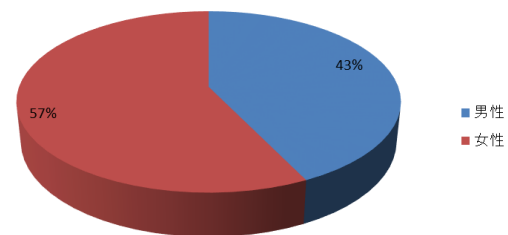


### ○性別

男性 687件

女性 912件

団体等 24件



### ○年代別

20歳未満 24件

20歳代 101件

30歳代 146件

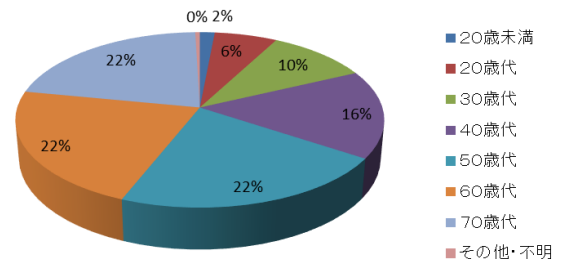
40歳代 234件

50歳代 297件

60歳代 338件

70歳以上 446件

その他・不明 37件



○弁護士相談件数

86件

2. 相談の内容

○不審な電話・訪問・郵便物に関する相談：402件（前年度386件）

不審な電話や訪問の他、架空請求のハガキが届くなどの相談。

○電子媒体（パソコン・スマートフォン）における架空請求・不当請求：

155件（前年度279件）

メールで「情報サイトの未納金」を請求されたという架空請求に関する相談や、副業サイト・アダルトサイト・出会い系サイト業者による不当請求、オンラインゲームの課金などに関する相談で、幅広い年齢層で上位を占めている。

○不動産等賃借に関する相談：68件（前年度64件）

主にアパートの退去時における多額の修繕費の請求や、賃貸住宅の修繕トラブルなどに関する相談。

○住宅リフォーム、新增築に関する相談：68件（前年度53件）

高齢者を狙った悪質な訪問販売（屋根工事、住宅リフォーム）や、住宅の新增築トラブルに関する相談。

○健康食品に関する相談：58件（前年度42件）

通信販売でお試しだと思っていたら定期購入だったという相談。その他マルチ商法、高齢者の購入トラブル、商品が届かないといった相談。

3. 啓発活動

○出前講座

公民館、老人会、まちづくり協議会、地区社会福祉協議会、保育所、高等学校等

鈴鹿市 77回（2,851人）

亀山市 26回（976人）

合計 103回（3,827人）